

雪の角館武家屋敷風情

# みちのく ココロとカラダの 癒し旅

秋田県仙北市角館

田町武家屋敷ホテル

## 二つの武家屋敷通り

おかないのだろう。

平成十七年九月二十日に田沢湖町、西木村と合併して仙北市となった旧角館町は、年間二百五十万人もの観光客が訪れる県内有数の観光地だ。その半数が桜祭りの

一般に、角館の武家屋敷といえは、旧角館町役場（現仙北市役所角館庁舎）より北側の東勝楽丁、表町下丁の通りに面した六軒の武家屋敷群を指す。そして、角館にはもう一つの武家屋敷通りがある。商人町の一角である田町の武家屋敷通りである。役場以北の武家屋敷通りは佐竹北家家臣団の居住区であり、一方の田町の方は今宮家家臣団の居住区ということであった。現在の田町で武家屋敷の面影をとどめているのは西

ころに集中するとはいうものの、どんなオフシーズンであってもガイドマップ

片手に武家屋敷通りを

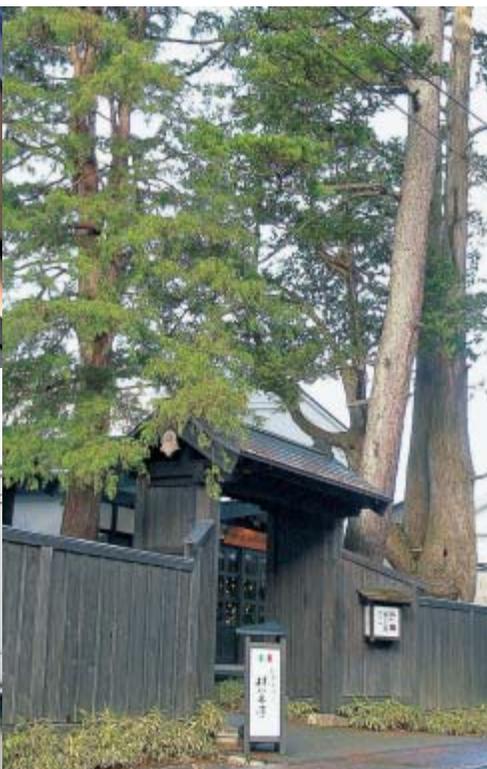
そぞろ歩く観光客を必ず見かけるほどである

から、この町のたまたまいは、多くの日本人の心の琴線を刺激せずには



黒板塀越しに洋館も垣間見える田町界隈(かいわい)

る田町の武家屋敷通りである。役場以北の武家屋敷通りは佐竹北家家臣団の居住区であり、一方の田町の方は今宮家家臣団の居住区ということであった。現在の田町で武家屋敷の面影をとどめているのは西



黒板塀の門をくぐると田町武家屋敷ホテル。宿泊棟の外観は蔵のイメージでデザインされ、角館の町並みに調和している



- ▲売店のお土産品も充実
- ◀和室の客室。明るさを抑えた照明が“大人の宿”の風情だ
- ▼洋室は民芸調の空間にツインのベッド。蔵座敷にいるような気分を楽しめる。部屋着は作務衣(さむえ)



### 舌に残す角館の思い出

宮家のみだが、細い通りに続く黒板塀が、ここがかつてサムライ町であったことを証明しているようでもある。

そんな黒板塀の町並みに溶け込むようにたたずむのが田町武家屋敷ホテルだ。

一見して他の宿泊施設とやや趣を異にするように感じられるのは、新し

いコンセプトで平成十一年十一月開業したばかりという、まだ若いホテルであるからだ。

主に実年世代の二人連れの旅行者の利用を想定していて、客室は照明を落とししたシックで小粋な空間、夕食は本格イタリアンのコース料理だ。それははるばる時間とお金をかけて角館に観光にやってくる旅人への、“宿泊でもいい思い出をつくらせて帰ってもらいたい”という、後発の宿泊施設ならではの取り組みといえるのではないだろうか。



- A: 食事だけでもできるレストラン「縦の木亭」。メインホールの他に個室もある
- B: 新鮮な旬の食材を使うので毎日メニューが変わる
- C: [スープ] 里イモのスープと自家製パン
- D: [魚料理] タイのカルトツョ塩魚汁(しょつつる)風味



▲全室東向き  
客室の朝日が差し込む  
▶朝食は純和風



呼ぶべき宿である。  
テルはまさにオーベルジュ(宿泊施設付きのレストラン)と

そして、そのような個性的な宿であるがゆえに、角館には何度か訪れたことのある私たちであつても、ちょっと時間のできたときにふらりとこのホテルの料理を楽しみに出かけ、ついでに「角館に一泊し、ついでに「気ままに角館の町を散策して帰るといった、ちょっとぜいたくな休日の過ごし方が考えられるのではないかと思うのだ。結婚記念日や、パートナーの誕生日などにリザーブしておく、心にしみる思い出をつくることができるだろう。

コース料理といつても緊張する必要はない。レストランでは部屋着の作業衣(さむえ)のままでもいいし、ナイフ・フォークよりもはしのほうが食べやすかったらそれで食べてもいい。野菜などは地元のものを取り寄せているそう、食材の新鮮さは一番のこだわり。その、素材本来の風味を生かしながら、いかにもイタリアンらしい大胆かつ繊細な味付けで、おいしいものに目がない人であれば、一度食してみない手はないだろう。このホテルはまさにオーベルジュ(宿泊施設付きのレストラン)と呼ぶべき宿である。

### 冬こそ訪ねてみたい

客室は全室バストイレ付きだが、宿から歩いて五分の入浴施設「かくのだて温泉」とは姉妹施設になっていて、宿泊客は割引料金で天然温泉の大浴場を使える。投宿日に割引チケットを買えば翌日の正午まで何回でも入浴できるので、実質的にこのホテルは、「温泉にも入れる宿」と言っていいたい。

冬場は角館の町もさすがに観光客はまばらだが、黒板塀と雪のコントラストが一層際立つ冬の武家屋敷の風情は一見に値する。ホテルの近くにある新潮社記念文学館(新潮社創業者が角館出身という縁で建てられた)でじっくりと文学世界に浸るのも悪くない。

四月十日までは二名以上の女性グループ向けのレディースプランも用意されていて通常期よりもリーズナブルに利用できる。桜の季節を迎える前にこそ一度角館に足を運んでみたいものだ。

(文・写真||かつりゆい||こえつ||秋田市)



西宮家は田町武家屋敷通りに残る唯一の武家屋敷

- E: [パスタ] タコのラゲ
- F: [前菜] 生ガキのカクテルすだち添え
- G: [前菜] 合鴨(あいがも)の煮びたし  
コンポートはイチジク
- H: [肉料理] 桃豚のグリル
- I: [デザート] ガトーショコラとバニラのジェラート
- J: 食事の最後は少し濃いめのコーヒーで



## TAMACHI BUKEYASHIKI HOTEL

### 施設のご案内

- 客室 12室(和室8・洋室4)  
全室バスルーム・トイレ付き  
床暖房・冷暖房・電磁湯沸かし器・  
冷蔵庫完備
- 駐車場 10台

お一人様

1泊2食付き 15,750円より(税・サ込)



田町武家屋敷ホテル

〒014-0312

秋田県仙北市角館町田町下町23

TEL.0187-52-1700 Fax.0187-52-1701

HPアドレス <http://www.bukeyashiki.jp/>

Eメールアドレス [info@bukeyashiki.jp](mailto:info@bukeyashiki.jp)



▲宿泊客はホテルから徒歩5分のかくのだて温泉を割引料金で利用できる

◀カルシウム・ナトリウム・硫酸塩・塩化物泉の本格天然温泉



イオヤ(伊保商店)は大正時代の石造りの建物が印象的



れんが蔵のある老舗の商家・安藤家では買い物を兼ねて店内も見学したい



宿の向かいの年代物の建物は旧角館製糸工場。この町の歴史の名残